

平成20年度

「わかりやすいかさまの予算」

～みんなで創る 文化交流都市～



笠 間 市

はじめに

笠間市が平成18年3月19日に誕生して2年が経ち、3度目の予算編成となりました。これまで、笠間市の有する豊富な地域資源や合併効果を最大限に生かし、平成19年4月に策定した、笠間市総合計画に掲げた将来像

『住みよいまち 訪れてよいまち 笠間
～みんなで創る 文化交流都市～』を実現するため、次の6つの柱（施策の大綱）に沿った事業を進めてきました。



笠間市長 山口伸樹

1. 広域交流基盤を生かした新時代のまちづくり（土地利用・都市基盤）
2. 多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり（産業）
3. 共に支えあい、健やかに暮らせるまちづくり（健康・福祉）
4. 自然と共生した安全でやさしさのあるまちづくり（生活環境）
5. 人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり（教育・文化）
6. 人と地域、絆を大切にした元気なまちづくり（自治・協働）

平成20年度の予算についても、総合計画3ヵ年実施計画を基に、将来像実現に向けた6つの柱の事業を実施していくための予算編成をしました。

つきましては、平成20年度の予算編成にあたり、納めていただいた税金がどのように使われているのかを市民の皆様にお知らせし、理解していただくために、今回この「**平成20年度 わかりやすいかさまの予算**」を作成しました。市町村の予算書は、分厚く、数字だけでとっつきにくく、わかりづらいといわれていますが、市の予算の具体的な内容を、図表や写真を活用し少しでもわかりやすい説明になるよう心がけましたので、市の予算がどのように使われているかをぜひお確かめください。

今後も市民参加の推進を図り、より一層わかりやすい行政運営に努めていきますので、引き続きご指導ご支援よろしくお願いします。

平成20年4月

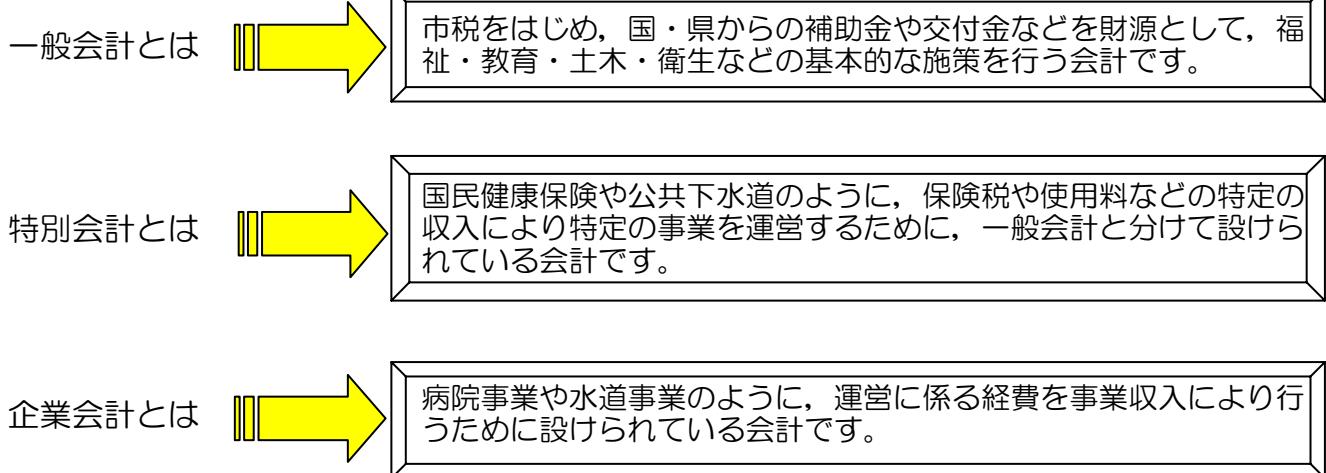
— 目 次 —

I 各会計の予算額	1
II 一般会計予算を家計にたとえると	2
III 基本構想	3
IV 主な事業の説明	4
1. 広域交流基盤を生かした新時代のまちづくり	4
2. 多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり	6
3. 共に支えあい、健やかに暮らせるまちづくり	7
4. 自然と共生した安全でやさしさのあるまちづくり	8
5. 人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり	9
6. 人と地域、絆を大切にした元気なまちづくり	10
V 財政関連の数値	11
VI 参考資料	12
1. 一般会計	12
2. 特別会計	14
3. 企業会計	17
4. 地方債の状況	18
5. 一部事務組合等への負担状況	19

I 各会計の予算額

(単位：千円、 %)

会 計 名	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	対前年度比率
一 般 会 計	26,802,000	27,310,000	△ 508,000	△ 1.9
國民健康保険特別会計	7,979,611	7,648,000	331,611	4.3
老人保健特別会計	516,232	5,951,000	△ 5,434,768	△ 91.3
後期高齢者医療特別会計	625,700	0	625,700	皆増
介護保険特別会計	4,100,000	4,020,000	80,000	2.0
介護サービス事業特別会計	25,770	15,378	10,392	67.6
公共下水道事業特別会計	4,207,793	2,801,951	1,405,842	50.2
農業集落排水事業特別会計	432,330	478,802	△ 46,472	△ 9.7
市立病院事業会計	523,661	547,988	△ 24,327	△ 4.4
笠間水道事業会計	1,464,656	1,027,429	437,227	42.6
友部水道事業会計	1,328,585	1,203,785	124,800	10.4
岩間水道事業会計	481,871	408,879	72,992	17.9
工業用水道事業会計	36,477	36,110	367	1.0
合 計	48,524,686	51,449,322	△ 2,924,636	△ 5.7



Ⅱ 一般会計予算を家計にたとえると

◎一年間に必要な生活費を500万円としてみると

収 入			
一般会計予算（年額）		家計にたとえた場合（年額）	
市税	93億4,205万円	給料	174万円
負担金・使用料など	15億2,790万円	パート収入	29万円
地方交付税・地方譲与税 各種交付金	68億2,461万円	親からの仕送り	127万円
国・県支出金	39億8,221万円	親から特別にもらう仕送り	74万円
市債	36億9,180万円	ローンの借り入れ	69万円
繰入金	14億3,343万円	預貯金の取崩し	27万円
合 計	268億 200万円	合 計	500万円

支 出			
一般会計予算（年額）		家計にたとえた場合（年額）	
人件費	61億2,826万円	食費	114万円
物件費など	35億1,651万円	光熱水費、通信費	66万円
投資的経費・維持補修費	51億7,507万円	自宅の増改築・修繕費	97万円
扶助費	30億6,578万円	医療費・保険料・介護サービス利用料など	57万円
補助費等	33億3,347万円	子どもの小遣い・教育費、自治会費	62万円
公債費	29億5,158万円	ローンの返済	55万円
積立金・貸付金など	2億1,369万円	預貯金	4万円
繰出金	24億1,764万円	子どもへの仕送り	45万円
合 計	268億 200万円	合 計	500万円

資 産 の 状 況			
市債残高	251億9,972万円	ローン残高	470万円
基金残高	75億 569万円	預貯金	140万円

1年間の生活費500万円をまかなうのに、給料（174万円）とパート収入（29万円）、親からの仕送り（201万円）を加えてもなお不足する額96万円のうち、69万円をローン借り入れで、さらに27万円を預貯金の取崩しで対応しています。

ちなみに、一般会計の予算を一人当たりに換算すると年額約329,700円になります。
おもな内訳は
民生費が約84,000円
土木費が約63,800円
教育費が約39,500円
公債費が約36,300円となっています。



3/1現在 住基人口 81,293人

III 基本構想

将来像

基本方針



将来像を実現するための6つの柱(施策の大綱)

IV 主な事業の説明

笠間市総合計画

「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」～みんなで創る 文化交流都市～

基本構想
(6つの柱)

基本計画
実施計画

重要事務事業
(22事業)

広域交流基盤を生かした新時代のまちづくり【土地利用・都市基盤】

都市計画マスタープラン策定事業 4,366千円

総合計画などの上位計画を受けつつ、市民のまちづくりに対する意向を把握しながら、土地利用や道路・公園・下水道等の都市基盤施設、景観等の目標や方針となる都市計画マスタープランを策定します。

友部駅・岩間駅周辺整備事業

友部駅周辺整備事業 766,542千円

岩間駅周辺整備事業 659,623千円



友部駅の魅力づけと駅前広場の整備改善により、交通結節点としての利便性、快適性の向上と駅周辺地域の環境改善を図り、駅へのアクセス性並びに交通環境の改善を推進します。

岩間地区のシンボルロードとして位置づけられている「都市計画道路：駅東大通線、日吉町古市線」の道路整備と、交通結節点である岩間駅の東西を連携する「自由通路及び駅舎」の整備を図ります。

友部駅周辺イメージ図

幹線道路整備事業

上町大沢線整備事業

42,361千円

南友部平町線整備事業

237,500千円



広域化・活発化する交流を受け止め、地域の活力を支える都市構造の形成に向けて、広域交通体系と適切に連絡し、かつ、都市の一体性を高める幹線道路網の整備を推進します。

幹線道路工事見学会

デマンド交通システム運行事業

69,882千円

公共交通空白地域の解消などの課題に対応するため、事前予約、利用者の乗合いにより希望する場所から目的地まで（ドアからドアまで）の送迎を基本とする「デマンドタクシーかさま」を運行します。これにより、市内における移動の便利性の向上と地域の活性化を図ります。



多彩な交流で飛躍する活力ある産業のまちづくり【産業】

観光振興強化促進事業 236,941千円



笠間市及び周辺地域の観光事業の健全なる振興を図り、地域経済の発展に資するため、観光拠点等の整備、受け入れ体制等の充実を推進します。

農産物振興事業 903千円

農産物の振興については単に生産分野だけでなく、加工、流通、PR、販売方法、消費者ニーズなど、全体を考えながら実施しなければならない時代になっており、これらの課題を克服し、農産物の生産振興、農業経営の安定化を図るため、総合的な農産物振興事業を展開します。

グリーンツーリズム推進事業 727千円



市内に数多くある地域資源を生かした都市と農村の交流事業を展開し、農林業への理解や農村の環境学習の場としての活用を通して、美しい農業生産環境の維持・創出、農村の活性化を図ります。また、愛宕山周辺地域においてグリーンツーリズムの推進体制を整備し、農的資源や自然、史跡などを活用した観光農業、交流事業を展開します。さらには「あたご天狗の森スカイロッジ」とも連携し施設の利用促進にも繋げていきます。

企業誘致・支援事業 810千円

新規

笠間市の恵まれた交通環境を生かし、新たな広域交流拠点ともなる茨城中央工業団地（笠間地区）や笠間東工業団地、笠間市稻田石材団地などの既存工業団地への企業誘致として、産業視察会等を県と共に催で実施するとともに、「茨城県笠間・茨城地域産業活性化協議会」による広域的な企業立地を促進します。

共に支えあい、健やかに暮らせるまちづくり【健康・福祉】

市民の健康づくり事業

963千円



メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予防や改善策として、バランス食の指導や健康体操を体験することで生活習慣病を予防し、市民の健康意識の高揚と健康増進を図ります。

市内に住所を有する40歳以上65歳未満の方を対象に、健康運動指導士、生涯スポーツ指導員、保健師、管理栄養士による健康チェックや筋力トレーニング、ストレッチ、リズムウォーキングなどの健康体操を、各保健センターで3ヶ月を1クールとして実施します。

障害者地域生活支援事業 77,462千円

障害者がそれぞれの地域で自立した日常生活や社会生活が送れるよう、地域の特長を生かしたサービス体制をつくり、さまざまな支援やサービスの充実を図ります。

少子化対策事業

南小学校児童クラブ室建設事業	34,876千円	新規
地域子育て支援拠点事業	2,787千円	新規
保育料軽減事業	112,505千円	新規 (軽減額)
マル福自己負担助成事業	33,103千円	(市単独助成額)
不妊治療助成事業	1,600千円	新規
妊婦健診推進事業	29,285千円	新規
出会い創出事業	400千円	新規



少子化対策事業は、平成20年度予算の重点施策と位置付け、予算編成を行いました。

特に保育料については、保護者の負担軽減を図るために、各階層の保育料を旧3市町の最低の額としました。これにより、平成19年4月1日現在の県内市町村保育料表の単純合計平均額から見ると、県内でも安い方から3番目程度となると試算しています。

自然と共生した安全でやさしさのあるまちづくり【生活環境】

鉛製給水管布設替事業

41,035千円

新規

厚生労働省の「水道ビジョン」では、鉛製給水管を5年後に半減し、できるだけ早期にゼロにする目標を掲げており、笠間水道事業においても、平成20年度からの5カ年で調査・布設替を実施し、市民の安全で安心な水の安定供給を図ります。

生活排水対策事業

999,503千円

市民生活の向上と自然と共生する環境の維持・保全に向けて、効率的な排水処理を進めるため生活排水ベストプランに基づき、公共下水道をはじめ地域の特性に応じた生活排水対策事業を推進します。

消防施設整備事業

99,686千円



消防緊急通信指令装置の老朽化のため、指令装置（自動出動指定装置・地図等検索装置・指令伝送出力装置・通報位置情報通知装置）のコンピューターの部分更新を行い、市民の安心安全を図ります。

消防団置場兼詰所は、各種災害発生時や警戒・広報活動等において、地域防災の拠点として重要な役割を担っていることから、老朽化の激しいものから計画的に整備を図ります。

環境基本計画推進事業

1,135千円



笠間市の環境関連施策を長期的視点から総合的に推進するために、環境基本計画を策定しました。

その環境基本計画を推進するため、市民・事業者・市が一体となって取り組むための目標を共有し、重点的に取り組んでいく事業を積極的に展開することにより、環境保全と公害防止を図ります。

人が輝き、豊かな文化を創造・発信するまちづくり【教育・文化】

岩間中学校整備事業

603,220千円

新規

笠間市公立学校施設整備事業計画に基づき、学校施設の整備改善を計画的に進め、児童・生徒の安全確保と地域の防災施設としての機能を確保し、あわせて教育環境の改善を図ります。

昭和56年以前に建築された、耐震性に問題のある小中学校・幼稚園の建物のなかで、優先度の高い岩間中学校の改修工事を実施します。

外国語活動モデル事業

3,430千円

新規

現在、小中学校では ALT（外国語補助教員）授業を年間10～12時間実施していますが、モデル校を選定して、年間35時間程度の外国語活動を展開し、国際コミュニケーション力(資質・能力)の育成を重点的に取り組んでいくとともに、新指導要領に沿った授業の指標作りに取り組みます。

放課後子ども教室推進事業

3,129千円



放課後の子どもたちの安全で健やかな居場所を確保、勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の取組みを行います。平成20年度は新たに大原小学校、岩間第3小学校の2つの小学校で開設します。

国民文化祭事業

4,614千円

新規



国民文化祭は、全国で活動している文化・芸術活動の愛好者や団体が一堂に会して、音楽や演劇、伝統文化の競演、一般公募により出品された文芸や美術作品の展示、さらに開催地独自の文化・芸術イベントなどを行う、国内最大の文化・芸術の祭典です。平成20年11月1日～9日まで開催される第23回国民文化祭・いばらき2008において、広域文化交流事業「笠間・炎の祭典」「ストーン文化フェスティバル」を開催します。

人と地域、絆(きずな)を大切にした元気なまちづくり【自治・協働】

協働のまちづくり推進事業

677千円

新規



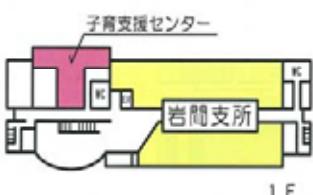
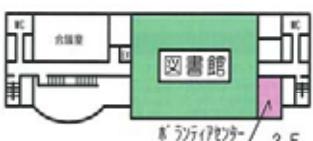
笠間市における協働の定義づけと協働のまちづくりを推進するため、「協働のまちづくり市民会議」を設置し、今後の地域コミュニティ及び市民活動を推進するための指針（マニュアル）を策定するとともに、協働のまちづくりを行うための条例の制定に向けた検討を行います。

岩間支所庁舎有効活用事業 54,224千円

新規



岩間支所庁舎施設の空きスペースを効率的に有効活用するため、老朽化した岩間公民館と他地区に比べて狭隘で蔵書数格差の大きい岩間図書館を整備します。また、岩間地区に未整備であった子育て支援センターとボランティアセンターを整備することにより、施設整備費の抑制と地区間の均衡化を図ります。



徴収対策事業

33,067千円

自主財源確保の重要性や税負担の公平性をさらに確保するため、笠間市税等収納特別対策本部による全庁的な取組を中心に、納付催促や訪問、財産調査、差押等の滞納処分を実施し、市税等徴収率の向上を図ります。また、納税者の利便性向上のためコンビニ収納を実施します。

V 財政関連の数値

平成18年度決算に伴う財政関連の数値は以下のとおりです。

財政指標	笠間市	県内44市町 村中順位	県内44市 町村平均	備 考
経常収支比率	86.0	7	90.6	財政構造の弾力性を判断するための指標で、数値が小さいほど、弾力性のある行政運営が出来ます。
実質収支比率	3.1	5	5.6	実質収支額が黒字の場合の比率は正数で、赤字の場合は負数で表されます。おむね3～5%が望ましいと考えられています。
実質公債費比率	13.3	12	15.0	公債費に対する財政負担の程度を示すものです。従来反映されていなかった上・下水道事業や病院事業の公債費への一般会計繰出金、一部事務組合の公債費への負担金等の公債費類似経費を算入しています。 この実質公債費比率が18%を超えるとイエローカードが出され、25%を超えるとレッドカードとなります。
財政力指数	0.64	29	0.74	各地方公共団体の財政力を示す指標です。この指數は1に近く、あるいは1を超えるほど財政的に余裕がある団体といわれています。
ラスパイレス指數	98.0	18	97.0	給与水準と比較するために用いる統計上の指數です。国の平均給料月額を100とした場合、市がどれくらいの値となるかを見るものです。

*財政構造の弾力性などを示す経常収支比率及び実質収支比率については、県内平均を下回っております。また、起債償還の指標である実質公債費比率は、県内平均を下回っています。しかし、自治体の財政力を示す財政力指数は、県内平均を0.1ポイント下回っており、市税等の自主財源の確保が大きな課題です。

VI 参考資料

1. 一般会計

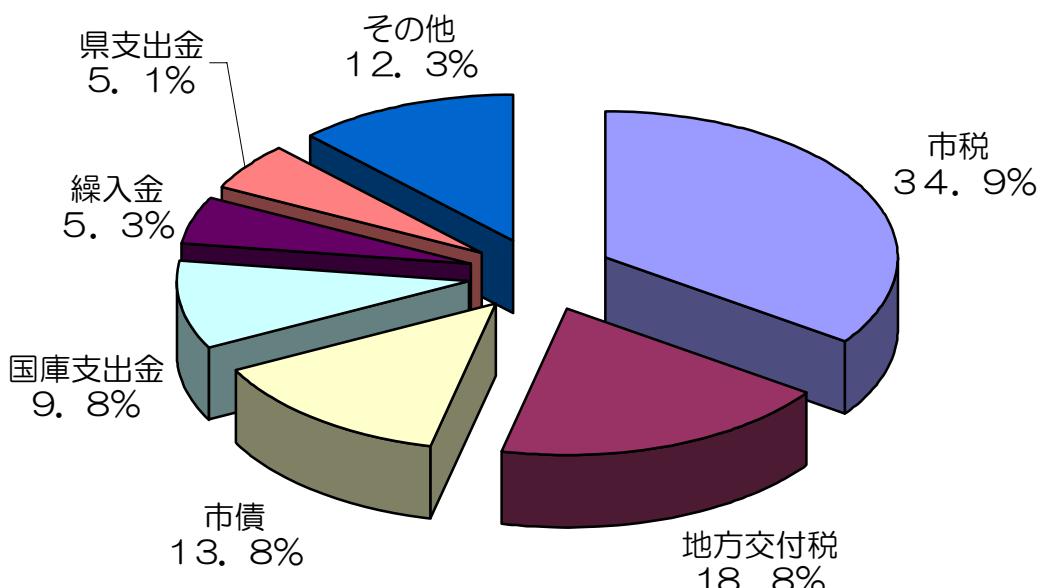
歳 入

昨年に引き続き、地方交付税算定の特例分、県補助金の合併特例交付金、合併特例債等の合併支援措置を有効に活用するとともに、税負担などの公平を保つため、収納対策本部を設置し、徴収率のアップを図ります。また、納税者の利便性を図るためコンビニ収納を実施します。

(単位：千円、%)

歳 入	平成20年度		平成19年度		比較増減額
	予算額	構成比	予算額	構成比	
市 税	9,342,050	34.9	9,286,823	34.0	55,227
地方交付税	5,050,000	18.8	5,601,000	20.5	△ 551,000
市 債	3,691,800	13.8	3,515,800	12.9	176,000
国庫支出金	2,615,661	9.8	3,027,991	11.1	△ 412,330
繰 入 金	1,433,430	5.3	1,349,998	4.9	83,432
県 支 出 金	1,366,545	5.1	1,278,786	4.7	87,759
そ の 他	3,302,514	12.3	3,249,602	11.9	52,912
歳 入 合 計	26,802,000	100.0	27,310,000	100.0	△ 508,000

歳入予算状況図



市 税	市民税・固定資産税などの税金です。
地方交付税	自治体間の財源の不均衡を是正するため国から交付されます。
市 債	国や金融機関から借り入れるお金です。
国庫支出金	国からの補助金で生活保護や幹線道路整備等特定の事業に充てられます。
繰 入 金	各基金（預貯金）を取崩して使用します。
県 支 出 金	県からの補助金で統計調査や農地の整備等特定の事業に充てられます。
そ の 他	各種使用料や前年度からの繰越金などです。

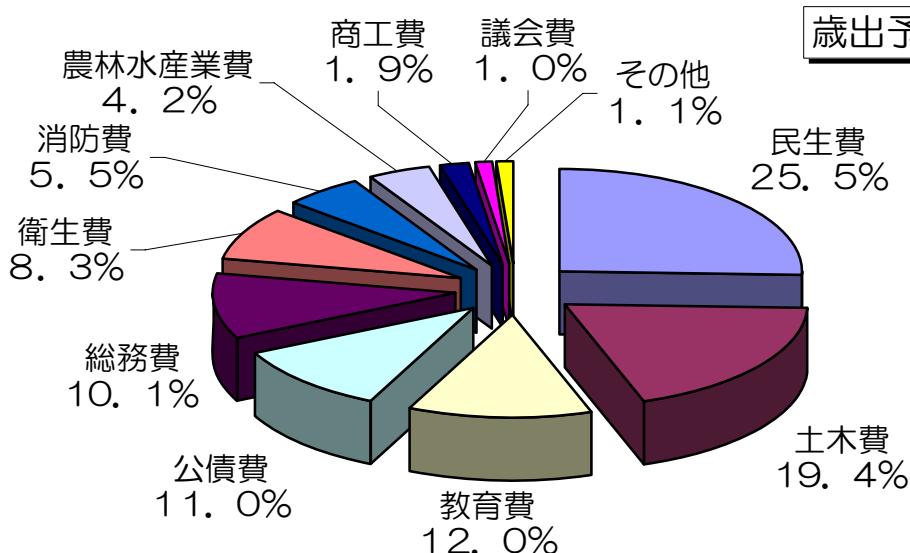
歳 出

新市の一一体感を醸成し合併効果を高めるための幹線道路整備、交通の利便性を高めるための駅周辺整備などの都市基盤整備を引き続き推進するとともに、「地域みんなで支えあう 子育てのまち 笠間市」をめざし、少子化対策に重点を置いた予算編成をしました。

(単位：千円、%)

歳 出	平成20年度		平成19年度		比較増減額
	予算額	構成比	予算額	構成比	
民 生 費	6,828,057	25.5	6,610,002	24.2	218,055
土 木 費	5,187,641	19.4	5,915,942	21.7	△ 728,301
教 育 費	3,210,252	12.0	3,091,808	11.3	118,444
公 債 費	2,951,652	11.0	2,526,150	9.2	425,502
総 務 費	2,720,116	10.1	2,750,657	10.1	△ 30,541
衛 生 費	2,223,221	8.3	2,393,594	8.8	△ 170,373
消 防 費	1,469,320	5.5	1,562,402	5.7	△ 93,082
農林水産業費	1,121,552	4.2	1,179,821	4.3	△ 58,269
商 工 費	503,256	1.9	656,338	2.4	△ 153,082
議 会 費	281,004	1.0	296,639	1.1	△ 15,635
そ の 他	305,929	1.1	326,647	1.2	△ 20,718
歳 出 合 計	26,802,000	100.0	27,310,000	100.0	△ 508,000

歳出予算状況図



民 生 費	社会福祉、児童福祉、生活保護などの経費です。
土 木 費	道路・公園などの整備・管理等の経費です。
教 育 費	学校・図書館等の経費、スポーツ大会等の経費です。
公 債 費	借入金の返済を行う経費です。
総 務 費	庁舎の維持管理、広報紙発行、選挙等の経費です。
衛 生 費	各種検診・予防接種、ごみ収集等の経費です。
消 防 費	火災や台風などの防災活動経費です。
農林水産業費	農業や林業の振興のための経費です。
商 工 費	商工業の振興や観光事業の推進に関する経費です。
議 会 費	議員報酬や議会の運営に関する経費です。
そ の 他	病院・水道事業への出資金、不測の事態に備えた予備費です。

2. 特別会計

(1) 国民健康保険特別会計

加入者のみなさんが病気やけがをした時に備えて、安心して治療を受けられるように、普段からお金を出し合い、お互いに助け合う国民健康保険制度のための会計です。

平成20年度から特定検診・特定保健指導が始まります。



(単位：千円、%)

歳入予算額	7,979,611		歳出予算額	7,979,611	
歳入内訳	予算額	構成比	歳出内訳	予算額	構成比
国民健康保険税	2,490,900	31.2	保険給付費	5,016,447	62.9
国庫支出金	2,311,022	28.9	後期高齢者支援金等	989,365	12.4
前期高齢者交付金	916,226	11.5	共同事業拠出金	931,703	11.7
共同事業交付金	906,620	11.4	介護納付金	550,600	6.9
繰入金	541,916	6.8	老人保健拠出金	213,139	2.7
県支出金	395,853	5.0	保健事業費	79,042	1.0
療養給付費等交付金	333,625	4.2	その他	199,315	2.4
その他	83,449	1.0			

(2) 老人保健特別会計

高齢者の自己負担医療費を一般の方よりも軽くし、安心して医療を受けられるようにする老人保健制度のための会計ですが、後期高齢者医療制度への移行により平成20年度で廃止となります。



(単位：千円、%)

歳入予算額	516,232		歳出予算額	516,232	
歳入内訳	予算額	構成比	歳出内訳	予算額	構成比
支払基金交付金	268,181	52.0	医療諸費	507,479	98.3
国庫支出金	159,534	30.9	総務費	3,749	0.7
繰入金	48,527	9.4	その他	5,004	1.0
県支出金	39,884	7.7			
その他	106	0.0			

(3) 後期高齢者医療特別会計

75歳以上の高齢者の暮らしに配慮した治療が行われるような仕組みを導入するとともに，在宅医療の充実や介護サービスとの連携強化など、高齢者の生活を支える医療のための会計で、平成20年度から制度化されました。



(単位：千円、%)

歳入予算額	625,700		歳出予算額	625,700	
後期高齢者医療保険料	526,925	84.2	後期高齢者医療広域連合納付金	616,276	98.5
繰入金	98,646	15.8	総務費	9,323	1.5
その他	129	0.0	その他	101	0.0

(4) 介護保険特別会計

加齢に伴って介護や支援が必要になったとき、介護サービスを利用するため、介護保険制度運営のための会計です。要介護状態の軽減や悪化を防止する予防給付も行います。



(単位：千円、%)

歳入予算額	4,100,000		歳出予算額	4,100,000	
歳入内訳	予算額	構成比	歳出内訳	予算額	構成比
支払基金交付金	1,201,669	29.3	保険給付費	3,849,209	93.9
国庫支出金	906,826	22.1	総務費	150,405	3.7
保険料	769,122	18.8	地域支援事業費	75,633	1.8
繰入金	629,776	15.4	公債費	17,666	0.4
県支出金	591,264	14.4	その他	7,087	0.2
その他	1,343	0.0			

(5) 介護サービス事業特別会計

介護サービス事業特別会計は、平成18年度より新たに設置された特別会計で、サービス収入(介護予防サービス計画費収入)をもって、ケアプラン作成費用を支出するものです。



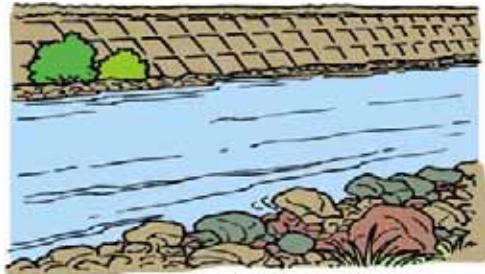
(単位：千円、%)

歳入予算額	25,770		歳出予算額	25,770	
歳入内訳	予算額	構成比	歳出内訳	予算額	構成比
サービス収入	17,268	67.0	総務費	18,929	73.5
繰入金	8,500	33.0	サービス事業費	6,292	24.4
その他	2	0.0	その他	549	2.1

(6) 公共下水道事業特別会計

下水道区域の台所、トイレなどで流した「汚水」をきれいにするための下水道事業の会計です。

今年度の下水道整備工事予定箇所は、石井・下市毛・旭町・橋爪・南友部・鯉渕・下郷・吉岡・泉・市野谷地内です。



(単位：千円、%)

歳入予算額	4,207,793		歳出予算額	4,207,793	
歳入内訳	予算額	構成比	歳出内訳	予算額	構成比
市債	2,296,900	54.6	公債費	2,964,237	70.5
繰入金	1,072,450	25.5	下水道費	1,238,556	29.4
使用料及び手数料	451,821	10.7	予備費	5,000	0.1
国庫支出金	288,400	6.9			
分担金及び負担金	86,917	2.1			
その他	11,305	0.2			

(7) 農業集落排水事業特別会計

農業集落の台所、トイレなどで流した「汚水」をきれいにするための農業集落排水事業の会計です。

今年度、友部北部地区の実施設計を行います。



(単位：千円、%)

歳入予算額	432,330		歳出予算額	432,330	
歳入内訳	予算額	構成比	歳出内訳	予算額	構成比
繰入金	304,567	70.4	公債費	226,242	52.3
県支出金	47,364	11.0	農業集落排水事業費	205,088	47.5
使用料及び手数料	43,445	10.0	予備費	1,000	0.2
市債	33,600	7.8			
その他	3,354	0.8			

3. 企業会計

企業会計予算状況			
地方公営企業法を適用して市が経営している事業は、病院事業、上水道事業及び工業用水道事業です。 病院事業は、市の病院として、地域に密着した医療を実践するための会計です。 上水道事業は、安心な水をみなさんの生活に必要な量を供給するための会計です。 工業用水道事業は、岩間工業団地へ工業用水を供給するための会計です。			
会計名	科目	予算額	業務の予定量
病院事業	収益的支出	千円 502,261	病床数 30 床
	資本的支出	21,400	年間患者数 入院 5,475 人 外来 24,200 人
	計	523,661	1日平均患者数 入院 15 人 外来 100 人
上水道事業	笠間水道事業	786,366 678,290 計 1,464,656	給水戸数 8,183 戸 年間総給水量 2,260,389 m³ 1日平均給水量 6,193 m³
	友部水道事業	738,686 589,899 計 1,328,585	給水戸数 11,842 戸 年間総給水量 3,232,495 m³ 1日平均給水量 8,856 m³
	岩間水道事業	345,158 136,713 計 481,871	給水戸数 4,315 戸 年間総給水量 1,654,062 m³ 1日平均給水量 4,532 m³
工業用水道事業		36,477 36,477	給水戸数 4 件 年間総給水量 287,202 m³ 1日平均給水量 787 m³
計	収益的支出 資本的支出 計	2,408,948 1,426,302 3,835,250	



4. 地方債の状況

平成19年度に高金利の地方債の繰上償還が国から認められたことにより、平成19年度から平成21年度で繰上償還を行います。

地方債の繰上償還予定は、一般会計が6%以上のもの、上水道事業及び下水道事業については、5%以上のものです。病院事業会計については、平成19年度に7%以上の地方債の繰上償還を行いました。

(単位：千円)

	平成18年度末 現在高	平成19年度末 現在高見込額	平成20年度 借入予定額	平成20年度 元金償還予定額	平成20年度末 現在高見込額
一般会計	23,827,059	25,199,725	(231,400) 3,691,800	(232,894) 2,440,187	26,451,338
介護保険特別会計	35,332	17,666	0	17,666	0
公共下水道事業 特別会計	17,975,302	18,690,193	(1,632,000) 2,296,900	(1,639,999) 2,418,227	18,568,866
農業集落排水事業 特別会計	4,606,682	4,655,482	33,600	141,465	4,547,617
病院事業会計	108,878	88,643		21,398	67,245
笠間水道事業会計	3,165,972	3,026,840	(428,100) 438,100	(429,184) 588,165	2,876,775
反部水道事業会計	1,692,120	1,764,299	(414,200) 434,200	(414,511) 500,958	1,697,541
岩間水道事業会計	684,655	670,922	(40,400) 100,400	(40,453) 62,160	709,162
合計	52,096,000	54,113,770	(2,746,100) 6,995,000	(2,757,041) 6,190,226	54,918,544

() 内には、繰上償還にかかる借換額および償還額を記入しています。

ちなみに、平成18年度末の一般会計地方債残高を一人当たりに換算すると292,306円になります。

県内市町村の平均は、332,150円です。

また、全国の市町村平均は、456,703円となっています。



平成19年3月31日現在人口
81,514人

5. 一部事務組合等への負担状況

一部事務組合等への負担金は次のとおりです。

(単位：千円)

名 称	予 算 額	備 考
茨城租税債権管理機構負担金	8,664	地方税の滞納整理を専門的に行う機構への負担金です。
水戸地方広域圏事務組合負担金	20,271	茨城町にある総合老人保健センター「ひぬま荘」の維持管理に要する費用の負担金です。
茨城県後期高齢者医療広域連合会負担金 (事務費等負担金)	27,711	平成20年度から新たに創設された、「後期高齢者医療制度」の事務を行う茨城県後期高齢者医療広域連合会への負担金です。
茨城県後期高齢者医療広域連合会負担金 (医療給付費負担金)	429,807	後期高齢者医療制度公費負担のうち、笠間市が負担する分です。
笠間地方広域事務組合負担金	159,080	広域斎場「やすらぎの森」の維持管理費等に要する費用の負担金です。
笠間・水戸環境組合負担金	525,493	友部・岩間地区のゴミを処理する組合への負担金です。
茨城地方広域環境事務組合負担金	100,119	友部・岩間地区のし尿を処理する組合への負担金です。
筑北環境衛生組合負担金	80,815	笠間地区のし尿を処理する組合への負担金です。

わたしたち笠間市民のねがい 一笠間市民憲章一

笠間市は、豊かな自然に恵まれ、先人たちが育んできた歴史や文化の薫るまちです。わたしたちは、このふるさとを愛し、市民相互の交流につとめ、「住みよいまち 訪れてよいまち 笠間」をめざします。

自然を愛し、美しくゆめのあるまちにしよう
健康で働き、元気でいきがいのあるまちにしよう
歴史と文化を大切にし、豊かでうるおいのあるまちにしよう
思いやりの心を育て、明るいほほえみのあるまちにしよう
きまりを守り、安心でやすらぎのあるまちにしよう

平成20年度「わかりやすいかさまの予算」

平成20年4月発行

編集・発行 笠間市総務部財政課

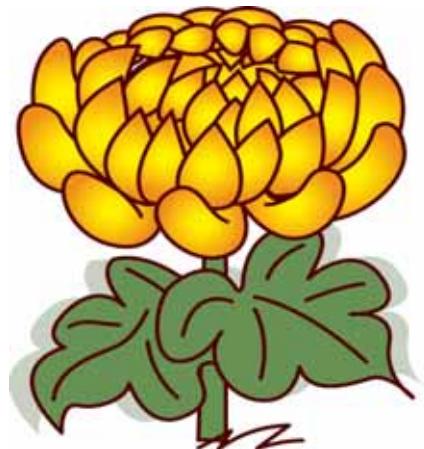
〒309-1792

笠間市中央 3-2-1

電話 0296(77)1101 内線 217

電子メール zaiseig@city.kasama.lg.jp

笠間市の花・木・鳥



きく



さくら



うぐいす

このイラストは、笠間市民憲章推進協議会主催による『市の花・木・鳥イラスト募集』において最優秀賞に選ばれた作品です。